



しいの木保育園子育て支援センター

とんぐりひろば

令和4年度
No.11
2月号

寒さが一段と厳しい季節ですが、暦の上ではもう春です。ふと見上げると、木々に小さな新芽が…春の近づきを教えてくれているんですね。



2月の行事

- ・14日(火) 午前休館
 - ・15日(水)～17日(金) (材料が無くなり次第終了)
つくりましょう (お雛様製作)
 - ・20日(月) リトミック(10:00～)
一般開放(リトミック参加でない方は、10:45～となります)
 - ・21日(火) 午後休館
 - ・27日(月) 誕生会(10:45～)
- ※新型コロナウイルス感染の対策により、予定を変更する場合があります。

2月のお誕生会

2月のお誕生会を開きます。誕生月のお友達の申し込みみ切りは、2/17(金)までとなります。詳しいことは職員にお尋ねください。



赤ちゃんのこぼの発達

喃語から始まり、一語分・二語文とこぼが増える0～2歳児。子どもがこぼを発するには周囲の大人の関りが重要です。では、こぼの発達に必要な事って何でしょうか?赤ちゃんは妊娠8ヵ月頃からお腹の中でまわりの音や、パパ・ママの声を聞いています。聴覚はこぼを覚えるための大事な入り口。お腹の中で、もう準備が始まっているんです。赤ちゃんは「泣くのが仕事」泣くのもこぼの準備です。甘えて泣く・怒って泣く・眠くて泣く…いろいろな泣き方を使い分け「声で気持ちを伝える」のが上手になります。

お話の練習は、生後5ヵ月頃から本格的に。おもちゃなど物をなめる事、離乳食で口や舌を動かすのが上手になる事、いろいろな行動がこぼの発達の力に繋がっていきます。脳を「脳細胞=豆電球」と「神経=電線」に例えると、生まれた時は「電球」の数は揃っていますが、配線が出来ていません。配線工事を進めるには大人の手助けが必要です。赤ちゃんがこぼを話すまでの発達には、抱きしめる・おっぱいやミルクを飲ませる・オムツを替えたり、お風呂に入れるなど、毎日の「お世話」や「関り」遊びを積み重ねる事で、配線が広がっていくのです。あくまでも発達には個人差がある事は忘れずに。親子で楽しい時間を過ごしながらか、こぼの育ちを見守っていただけらいいですね。

令和4年度 第11回リトミック

- ・日時 2月 20日(月) 10:00～
 - ・対象児 1, 2歳児
 - ・当日、保険代(1人25円、親子で50円)徴収させていただきます。
 - ・開始10分前には集まりましょう。
 - ・当日、欠席される方はご連絡下さい。
 - ・先着15組の申し込み制です。
- *次回3月23日(木)のリトミック申し込み開始日は3月1日(水)です。電話でのお申し込みは、ご遠慮下さい。

しいの木保育園子育て支援センター(とんぐりひろば)

清水町徳倉1603-10 TEL 055(933)4123

- ・開園日 月～金曜日
- ・時間 室内 9:00～12:00 & 13:30～15:30
園庭開放 11:00～12:00
- ・相談 常時受け付けています。お気軽にどうぞ
- ・地域問わず、どなたでもご利用になれます。